

個 人 質 疑 発 言 通 告 一 覧 表

令和 8 年第 3 回市議会定例会

順序	発 言 者		答弁を求める者	
1	氏 名	会 派 名	関 係 局 長	
	う か り と も え	立憲社民無所属		

発言の要旨

- 1 災害時のこどもの居場所づくりと平時からの備えについて
 - (1)避難所の中での「こども専用スペース」への考え方
 - (2)特別な配慮が必要なこどもへの「福祉こども避難所」での研修・訓練の実施状況及び実効性をどのように高めるか
 - (3)平時からの情報収集や連携の準備状況
 - (4)平時のこどもの居場所を災害時にも地域資源として生かすことについての見解
- 2 地震に伴う電気火災対策について
 - (1)東日本大震災における電気火災の発生割合
 - (2)大規模地震発生時に電気火災を防ぐ方法
 - (3)地震による電気火災に有効な感震ブレーカーの普及啓発
- 3 西郷隆盛を生かした観光・文化交流推進について
 - (1)西郷隆盛と京都の歴史的つながりに対する認識と観光資源としての活用
 - (2)西郷隆盛生誕 200 年・没後 150 年記念プロジェクト推進事業を契機とした京都市との連携
 - (3)文化や教育なども含めた幅広い視点で交流を深める考え
- 4 動物愛護管理センターにおける譲渡会の開催方法について
 - (1)夏場に臨時譲渡会を開催する際の配慮や対策
 - (2)臨時譲渡会の開催時期や頻度についての考え方や基準
 - (3)動物愛護管理センター駐車場側のエアコン設置施設の利用方法
 - (4)定期的な譲渡会の開催
- 5 ファミリー・サポート・センター事業のさらなる充実について
 - (1)改善状況について
 - ①利用者側の登録手続の改善内容
 - ②改善前と比較した依頼会員の新規登録者数の推移
 - ③今回の取組に対する評価
 - ④会員獲得に向けた新たな取組
 - (2)さらなる改善に向けた考え

1	うかりともえ	立憲社民無所属
---	--------	---------

6 地域の多職種連携による見守りについて

- (1) 現在の地域における高齢者等の見守り体制
- (2) 民生委員の定数・現員数及び1人当たりの担当世帯数と活動状況（令和8年）
- (3) 「心をつなぐともしびグループ活動推進事業」の目的・事業概要と8年度の事業費の内容、過去3年（5年度から7年度）の登録状況（グループ数、構成人数、訪問対象者数）
- (4) 地域住民同士の見守りに加え、既存の民間事業者等を活用した「見守りネットワーク」への転換の見解

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	教 育 長
2	の ぐ ち 英 一 郎	に じ と み ど り	関 係 局 長	

発言の要旨

- 1 2001 年以降、初めてのイノシシの止め刺し（とめさし）における特定猟具使用禁止区域での銃器使用に関連して
 - (1) 鹿児島県の見解
 - (2) 県内における使用状況
 - (3) 本市の 2001 年以降における対応経過
 - (4) A 氏への 7 回（特定猟具使用禁止・班長に話をしてある・本人の情報も個人情報だから開示できない・県要領により使えない・市要領の当該条項は空気銃の規定・地域住民の理解・猟友会の理解・森に人がいるかもしれない）にわたる不許可の理由の変遷の丁寧な説明
 - (5) 本市の事務取扱要領第 5 の 10 による方法とは
 - (6) 本年 4 月 6 日に発生した事故の認識と、当局の記録とその保管の有無
 - (7) 市長名と公印のある捕獲指示書で求める事故ゼロと従事者の安全確保の整合
 - (8) 捕獲時のみの支払い（国と市を合わせ 1 万 1,400 円）以外は公務災害と考え得る負傷事故を含めてあらゆる経費と支出が個人負担となっていることに対する是正急務の認識
 - (9) 継続的な担い手の育成のための市長の「止め刺しの銃」「経費補助」「公務災害認定と補償」の考え
- 2 林齢 80 年八重山一帯を大規模に開発する巨大風力ビジネス計画について
 - (1) 完成時の路肩を除いた車道幅員 4 m を基準とした保安林取扱いの大きな違いとは
 - (2) 環境アセス時に調査しきれていない絶滅危惧種の動植物の分布生息等追加調査の必要性和現状
 - (3) 今日までの同計画による伐採と植樹本数と対象面積
 - (4) 渡り鳥の実態と評価書との差異の把握
 - (5) 風車による継続的な振動の蓄積が健康にダメージを与えるとするピエゾチャネルの認識
 - (6) 着工による遊歩道の規制や禁止等に係る話合いの現状
 - (7) 県の景観形成ガイドラインの数値規制違反をなしにする 3 か所施設に係る話合いの現状
 - (8) 巨大風車の基礎 2 千トン 8 つによる地下水脈破断と 20 年埋設による土壌アルカリ化の飲料と農業等や動植物への史上初の影響想定
 - (9) 8 基の風車建設に伴う固定資産税増額が普通交付税算定に与える影響
- 3 「第 57 号議案 鹿児島市廃棄物の処理及び清掃に関する条例一部改正の件」について
 - (1) 16 年ぶりの価格改定に至る事業者への意見募集と今後の改定に向けた対応
 - (2) 今回の倍額改定で必要な経費を充足しているか、実際には幾らかかっているか
 - (3) 議決以降の関係事業者それぞれへの周知はどのように行う予定か
 - (4) 倍額改定を起因とするダンピングと不法投棄の予防策の具体
 - (5) 本年 2 月に諮問して 5 月に出た答申にある 3 つの要望の実現スケジュール

2	のぐち英一郎	にじとみどり
---	--------	--------

4 地球沸騰と人口激減時代の公共施設の断熱を伴う空調整備について

- (1) 第46号議案の鹿児島アリーナ空気調和その他設備改修工事請負契約締結に係る断熱の有無と効果試算
- (2) 第47号議案の吉田文化体育センター空気調和設備改修工事請負契約締結に係る断熱の有無と効果試算
- (3) 避難所指定の小中学校屋内運動場の空調整備の国による4年前倒しの影響
- (4) 現在の断熱を伴う避難所指定の屋内運動場のエアコン整備と家庭用複数台による整備（供用更新費含めた）との比較
- (5) 現在の整備における断熱性能とは
- (6) 授業や一般開放で断熱屋内運動場のエアコンを使う際の費用負担
- (7) これまでの断熱エアコン屋内運動場の整備平米単価と年間の維持管理費
- (8) 避難所ではない22か所の屋内運動場の総面積と小中学校名並びにそれらへの断熱を伴うエアコン設置の市長の考え

5 スタジアム計画進退の市長決断について

- (1) 全市民に客観的事実を提供した上で建設可否の条件等アンケートの実施
- (2) VIPラウンジ以外・試合日以外の民間が通年にぎわい稼げる具体のイメージとそのために必要な整備とは
- (3) 最低でも建てるだけで200億円必要な現状での県・クラブ等とのイニシャルとランニングのお金の負担分担協議の対象となる企業の数と関係団体の数
- (4) 市長の言われる快適な観戦環境とは。白波スタジアムと比べ、どのように改善するものか
- (5) オール鹿児島で50年使う立派な施設の費用分担が成立しないときは市長は断念するのか
- (6) 建設実現のために市長にとって絶対不可欠な条件は

6 市長の政治姿勢について

- (1) ICC赤根所長に対する米国トランプ政権からの制裁への所感と法の支配の尊重に係る見解
- (2) 困っている人4万人が利用した神戸市のフードサポートこうべと同様開催の必要性
- (3) 子ども・若者代表の審議会・協議会への参画拡充と日常的な意見表明方策の実装
- (4) 友好都市長沙市との45周年の準備状況
- (5) 「西郷隆盛生誕200年・没後150年」を目前に城山公園の売店施設等のブラッシュアップの急務認識
- (6) 市営バスや廃棄物処理の値上げなど、値上げが必要な実態費用一覧を市民に公開する必要性
- (7) 県のスポーツ・コンベンションセンターの海側大階段のサマーナイト大花火大会への影響に対する認識
- (8) 約40年ぶりに買う市民文化ホール約4,370万円のグランドピアノのお披露目イベントの考え
- (9) ゆうあい福祉バス（16年目24万5,634km）の新車購入の急務性

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長 農業委員会事務局長	教 育 長 選管事務局長
3	永 谷 さ よ こ	無 所 属		

発言の要旨

1 市長の政治姿勢について

- (1) 福岡県議会で見られた当局が議会質問を作成する等のいわゆる「根回し」について、本市の現状に対する市長の見解
- (2) 首長や議員による高額な海外渡航費が問題視されていることに対する市長の認識
- (3) 市長就任後の海外出張経験を踏まえた海外出張の必要性についての考え方
- (4) 憲法を守り尊重すべき立場にある自治体の長として、日々の行政執行や公務の遂行において日本国憲法に対してどのような思いを持ち、どのように市政へ反映しているか
- (5) 現憲法で行政執行や公務の遂行において不都合を感じたことがあるか
- (6) 「つながる人・まち 彩りあふれる躍動都市・かごしま」を目指す上で、憲法をどのように実践されているか

2 電子投票について

- (1) 電子投票の効果と課題
- (2) 電子投票を導入している他都市の事例（直近5年）
- (3) 本市の電子投票について試算を行った場合の概算
- (4) 今後本市において電子投票を行う考えはないか、理由を含めた見解

3 郡山岳町における家畜排せつ物処理に係る行政指導について

- (1) 処理した野積みの総量
- (2) 具体的な処理の方法とその内訳
- (3) 基準を超えてすき込んでいないか
- (4) 圃場が土捨て場となることで堆肥処理に問題はないか

4 （仮称）かごしま郡山風力発電事業について

- (1) 希少植物に係る環境保全措置等に関する事業者からの本市への説明の有無と内容
- (2) 今後の行政手続を踏まえ着工時期が変更される可能性
- (3) トラブルや懸念について市民が国へ情報提供する手だてがあるか
- (4) 盛土規制法に基づく許可手続の進捗状況
- (5) 盛土規制法に基づく許可申請書提出後の審査及び許可
- (6) 盛土規制法による手続と事業者が予定する着工時期に対する市の認識
- (7) 農地転用許可制度における郡山岳町の土捨て場予定地の取扱いについて
 - ① 農地の区分
 - ② 農用地区域内の農地は農地転用が原則不許可であるが、どのような場合に許可され得るか
 - ③ 一時転用として利用される期間
 - ④ 原状回復され農地として利用できるか
 - ⑤ そもそも一時転用とはいえ、農用地区域内の農地を土捨て場にしてよいのか

3	永谷 さ よ こ	無 所 属
---	----------	-------

5 買い物支援バス「らくっど」について

- (1) 支援バスが実現した経緯（健康福祉局）
- (2) 運行開始までの整備のプロセスと運行実績
- (3) 国土交通省の「地域の輸送資源の総動員」とは
- (4) 地域の自主的な取組に対する本市の支援の考え方

6 星ヶ峯地域の学校規模適正化について

- (1) 令和8年7月の地域住民向け説明会開催の概要（日時、場所、周知期間）
- (2) 対象者と各会場の参加人数
- (3) 説明内容
- (4) 決定事項を示した事実があるか
- (5) 保護者や地域の方々からどのような意見が出たか
- (6) 意見についての対応
- (7) 適正化に伴い変更が生じた場合の指定避難所の取扱い
- (8) 今後のスケジュール

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	関 係 局 長	
4	ま っ お は る よ	立憲社民無所属		

発言の要旨

1 ヤングケアラーについて

(1)本市のヤングケアラーの支援状況について

- ①相談件数の推移
- ②小学生・中学生・高校生及び18歳以上の直近の相談者数
- ③主な相談内容と対応（支援の事例）

(2)改正子ども・若者育成支援推進法について

- ①18歳以上の若者にも切れ目のない支援を提供することを明確にした背景
- ②18歳以上のヤングケアラーへの支援について
 - ア. 市町村にはどのような支援が求められているか
 - イ. 本市の支援の現状と課題及び今後の対応
 - ウ. 本市の窓口や広報は、拡大した対象年齢層についても適切なものとなっているか、見解と課題及び対応

(3)ヤングケアラー支援プランについて

- ①主な支援の更新内容
- ②地方公共団体の実態調査による早期把握について
 - ア. 本市における実態調査の現状と課題
 - イ. 今後の対応

(4)ことばのヤングケアラー（外国にルーツを持つヤングケアラー）について

- ①支援の在り方と本市における課題と対応
- ②実態把握の必要性についての見解

2 自殺対策について

(1)自殺死亡率について

- ①全国及び本市の自殺死亡率の推移（直近5年間）
- ②本市の特徴（死亡者数の多い属性）
- ③特徴に特化した対策

(2)「第二次鹿児島市自殺対策計画」における目標値及び現状

(3)令和9年度の国の予算概算要求における「地域自殺対策強化交付金による自殺対策の推進」にかかる本市の事業について

- ①対面・電話・SNSでの相談体制の現状
- ②ゲートキーパー養成講座について
 - ア. 講座の開始年度
 - イ. 延べ受講者数
 - ウ. 主な対象者
 - エ. 年間開催数
- ③交付金の交付率及び活用状況

4	まつおはるよ	立憲社民無所属
(4)本市の自殺対策について今後の課題と対応 (5)子ども・若者の自殺危機対応チームについて ①内容と目的 ②全国及び県の設置状況と本市の対応 3 ラバーポールについて (1)設置の目的と設置基準 (2)主な設置場所と設置数 (3)素材と耐用年数 (4)折損等の不具合についての確認方法 (5)更新の方法や時期についての考え (6)年次計画等に設置場所の道路パトロール、更新等について盛り込むべきと考えるが見解 4 マダニによる健康被害について (1)重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の症状 (2)SFTSの感染経路 (3)一般的な予防方法と刺された際の対処方法（ペット含む） (4)全国、県内、市内のSFTSの発生状況とそのうちの重篤な件数（直近3年） (5)本市の現状に対する見解と対応及び今後の取組 5 動物愛護行政について (1)令和8年熊本地震におけるペット対策について ①国、県、市町村の対応 ②7月31日に環境省から熊本県に発出された「避難施設・仮設住宅等へのペットの同居について（依頼）」について ア. 背景 イ. 内容 ウ. 本市において一時預かり等について民間等との連携・協議はどのようになされるのか (2)鹿児島市と民間ペット同伴専用避難所の協定について ①協定締結の経緯 ②施設概要と避難所としての機能 ③協定内容 ④避難所として運用が開始される時期 ⑤今後の課題 (3)多頭飼育崩壊の問題について ①多頭飼養による問題 ②本市の多頭飼養の届出制度について ア. 届出件数（制度開始からの累計） イ. 届出の現状についての見解 ウ. 課題 ③環境省のガイドラインに示されている「多頭飼育の問題解決を困難にしている要因」 ④本市での具体的な事例と対応例及び課題 ⑤甲賀市の取組事例について ア. 甲賀市犬猫多頭飼育防止会議の概要、参加者（団体） イ. 具体的な取組 ウ. 本市での取組への見解		

4	まつおはるよ	立憲社民無所属
---	--------	---------

6 市民文化ホールのグランドピアノについて

- (1) 第二ホールのグランドピアノの更新における機種指定の理由
- (2) 第二ホールにおける同機種の使用回数と主な利用内容（過去3年）
- (3) 耐用年数とメンテナンスの頻度及びその費用
- (4) 市有施設のホールで市民がグランドピアノを演奏できる取組について
 - ① 始良市の取組内容
 - ② 取組についての見解
 - ③ 本市で行う考えはあるものか

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長	教 育 長
5	大 園 た つ や	日 本 共 産 党		

発言の要旨

1 市長の政治姿勢について

- (1) 第六次鹿児島市総合計画における、福祉の後退による市民負担増を伴った前期基本計画の総括と後期基本計画において想定される市民負担増
- (2) スタジアム建設について「県・民間の財政負担がなければ断念する」と明言できないのか。市単独での建設にも含みを残しているのか
- (3) 前期基本計画策定時と後期基本計画策定時の将来負担比率の推移とスタジアム建設で「現行水準を維持」することができるのか。その影響についての見解

2 大規模災害時の避難所としての学校施設の空調及び非常用電源の課題について

- (1) 学校屋内運動場の空調の課題について
 - ① 学校屋内運動場に設置される空調の仕様と防災機能上の特徴
 - ② 令和8年熊本地震における都市ガスの被災状況
 - ③ 被災状況を踏まえての仕様の課題
- (2) 学校施設の非常用電源の課題について
 - ① 文部科学省通知「令和8年熊本地震における避難所としての普通教室の活用について」の内容
 - ② 停電時に学校施設の太陽光発電は非常用電源として利用可能か
 - ③ 自立型電源の重要性と国の動向
 - ④ 避難所機能強化のために自立運転機能を検討すべき

3 障がい児通所支援について

- (1) 第六次鹿児島市総合計画後期基本計画（素案）のうち「地域共生社会の実現 障害者福祉の充実」について
 - ① 目標指標の主な指標「障害児通所支援を利用している子どもの割合」の現況と目標及び前期策定時の割合
 - ② 主な指標で掲げているのは「さらに利用を促進する」ということか。見解
- (2) 鹿児島市障害福祉計画第7期計画・障害児福祉計画第3期計画について
 - ① 「障害児通所支援を利用している子どもの割合」の計画と実績の比較
 - ② これまで当局が示してきた「見込み」の現状を踏まえた見解
 - ③ 一部有料化を伴った第3期計画の利用者への影響を踏まえた総括
- (3) 「療育控え」「質の確保」といった課題に後期基本計画、障害福祉計画第8期計画・障害児福祉計画第4期計画ではどのように取り組むのか。基本的な考え方

4 第六次鹿児島市総合計画後期基本計画（素案）のうち「学校教育の充実 学びを支援する教育環境の充実 教育費の負担軽減等の教育環境の充実」について

(1)「教育費の負担軽減等の教育環境の充実」の基本的な考え方と進め方

(2)学校給食費の無償化について

①中核市の取組について

ア．給食費負担軽減交付金の上限を超える給食費となっている自治体の数

イ．そのうち無償化を実施している自治体と保護者負担となっている自治体の内訳

ウ．人口 50 万人以上の中核市での内訳

エ．無償化の実施に伴う財源

②本市の小学校給食費の無償化に必要な金額

③全国の状況を踏まえて無償化を実施すべきではないか。見解

(3)就学援助について

①申請者数と認定者数の前年同月との比較

②学年ごとの認定者数の前年同月との比較

③比較結果についての受け止め

④後期基本計画の考え方に逆行しているのではないか。見解

(4)補助教材の備品化による負担軽減について

①文部科学省の事務連絡（令和 8 年 7 月 17 日）の内容

②補助教材の価格の推移

③児童・生徒 1 人当たりの負担額

④想定される事業と財源

⑤事務連絡についての受け止めと今後の考え方

5 明和校区における義務教育学校基本構想について

(1)設置方針の概要

(2)整備方針について

①設置場所を中学校とする理由と小学校の学校施設の取扱い

②小学校の避難所指定と定員及びなくなることでの懸念

③「つくば市の小中一貫教育の成果と課題」について

ア．調査の概要

イ．「一体型」と「連携型」のそれぞれのメリット・デメリット

ウ．明和校区での「連携型」の選択肢は。見解

(3)学校教育法等の一部を改正する法律に対する附帯決議について

①「既存小・中学校との間の序列化・エリート校化・複線化等により学びの格差が生じることがないよう」と新設校の特色ある教育についての考え方

②基本構想の住民説明会における意見と受け止め及び附帯決議の「合意形成」との整合性

(4)今後の取組

5	大園 たつや	日本共産党
---	--------	-------

6 吉野地域のまちづくりについて

(1) 第六次鹿児島市総合計画地域別計画について

- ①前期基本計画での取組と評価
- ②人口・世帯数・管内の各学校における児童・生徒数の平成 22 年度と令和 7 年度の比較
- ③後期基本計画での現状と課題

(2) これまでの地域の課題について

- ①県養護学校跡地の本格的な活用についての協議状況
- ②児童・生徒数の増加に伴う新しい学校の必要性

(3) 後期基本計画での基本的な方向性